

第91回宮崎大学眼科研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育認定事業 (59046)

- ◆日時：令和5年1月21日(土) 16:00～19:10
- ◆会場：宮崎KITENビル 8F 大会議室
〒880-0811 宮崎市錦町1-10 TEL：0985-78-5810
- ◆会費：2,000円

単位受付のシステムが変わるため、今までの専門医更新登録証(金色のカード)は使用できません。

必ず新しい専門医更新登録証(青・白色のカード)をお持ちください。

～ プログラム ～

一般講演 I

16:00～17:10

座長 宮崎大学眼科 医局長 杉田 直大

- 1 「調節力支援眼鏡を用いた眼疲労への有用性について」
○樋渡翔吾、馬渡剛、茂谷翼、桑畑聡輝、長友さおり、安藤瑛里、椎葉真奈、
中馬秀樹、池田康博 -宮崎大学眼科-
- 2 「抗アクアポリン4(AQP4)抗体陽性視神経炎に対するサトラリズマブ療法後のAQP4抗体価の評価」
○新井千晶、森真喜子、中馬秀樹、池田康博 -宮崎大学眼科-
- 3 「当科で経験した眼梅毒の4症例」
○奥野佑介、石津正崇、池田康博 -宮崎大学眼科-
- 4 「増殖硝子体網膜症を伴う外傷性黄斑円孔に対し硝子体手術を施術した1例」
○満留一匠、杉田直大、池田康博 -宮崎大学眼科-
- 5 「当院における黄斑下血腫に対する硝子体内ガス注入術の治療成績」
○廣瀬英里香、石津正崇、大久保陽子、池田康博 -宮崎大学眼科-
- 6 「胸腺癌原発転移性脈絡膜腫瘍の1例」
○堀之内みどり¹⁾、日高貴子¹⁾、柗山剰²⁾、大栗伸行³⁾、佐藤勇一郎³⁾、
中馬秀樹¹⁾、池田康博¹⁾
-宮崎大学眼科¹⁾ 柗山医院眼科耳鼻咽喉科²⁾ 宮崎大学病理部³⁾ -
- 7 「眼瞼皮下腫瘍を契機に見つかったキャッスルマン病の1例」
○田村千奈見、中馬秀樹、池田康博 -宮崎大学眼科-

※コロナ感染拡大防止対策を取らせて頂いております。(ソーシャルディスタンスを考慮した配置)
アルコール消毒・マスク着用の御協力何卒宜しくお願い致します。

座長 宮崎大学眼科 准教授 中馬 秀樹

- 8 「牽引性網膜剥離の術後に黄斑皺襞をきたした1例」
○石合理崇、山添早織 ー県立宮崎病院ー
- 9 「ぶどう膜炎に伴う黄斑部変性」
○菅井洸、松元寛樹 ー県立日南病院ー
- 10 「クリニックにおける SpotTMVision Screener の有用性と精度検討」
○西橋裕一郎、原田一道 ー生目眼科クリニックー
- 11 「白内障手術後の眼精疲労に対する 0.05%シクロペントラート塩酸塩点眼の治療効果」
○桑原直杜、貝田智子、徳永忠俊、川守田拓志、神谷和孝、宮田和典 ー宮田眼科病院ー
- 12 「Bモード水浸法および UMB による増殖硝子体網膜症の形態」
○柗山剰、上岡弥生、森高ルミ ー柗山医院眼科耳鼻咽喉科ー

特別講演

18:10～19:10

座長 宮崎大学眼科 教授 池田 康博

『難治性網膜硝子体疾患に対する治療 Update』

近畿大学医学部眼科学教室 主任教授 日下 俊次 先生

特別講演Ⅰ 18:10～19:10

『難治性網膜硝子体疾患に対する治療 Update』

近畿大学医学部眼科学教室 主任教授 日下 俊次 先生

近年、25G, 27G といった径の小さな手術器具、眼底を広範に観察しながら手術を行える広角眼底観察システム、双手法を可能とする明るい光源を利用したシャンデリア照明といった様々な機器や、さらに3Dモニターを見ながら手術を行う heads-up surgery など、硝子体手術に関連した機器、器具の発達にはめざましいものがある。これに伴い、硝子体手術は今日、低侵襲で比較的短時間に行える安全な手術へと変貌を遂げた。

しかし、いくら機器が進歩しても難治性網膜硝子体疾患の治療成績が以前に比べて格段に向上した訳ではない。また、病態理解が不十分な疾患は数多く存在し、重症例に対する手術成績（特に機能的成績）は決して満足のいくようなものではない。未熟児網膜症を始めとする小児増殖性疾患では早期にスクリーニング、anti-VEGF 治療などを適切に行うことで重症例が徐々に減少しているとはいえ、重症例はいまだに存在し、その治療には難渋することが多い。今回の講演では最近の硝子体手術の進歩に加え、演者が取り組んでいる難治性網膜硝子体疾患、特に小児網膜硝子体疾患の病態と外科的治療法を中心にビデオを供覧しながら講演したい。